

「河川砂防技術研究開発」(平成28年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
画像解析法と水理解析の連携による安全・安定的な河川水位・流量観測システムの確立と実用化（研究期間：H28年～H29年）	東京理科大学 二瓶 泰雄	B
<研究概要> <p>本研究では、超過洪水時でも安全・安定的で、無人・自動連続的な水位・流量リアルタイム観測システムを確立するために、観測技術（画像解析法）と水理解析技術（DIEX法）の連携による水位・流量観測システムを確立し、実用化への道筋をつけることを目的とする。河川向けの画像解析としては前例のない長期連続の現地実証試験と室内実験によりシステムの性能検証を行い、新しい異常値棄却アルゴリズムを導入することで、実用レベルの河川水位・流量モニタリングシステムを構築した。</p>		
<事後評価コメント> <p>既存のCCTV画像を用いてこれまで観測が困難であった箇所における洪水時の水位・流量の測定が可能となる実用的なシステムが開発され、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 しかしながら、本手法の適用条件の明確化が必要であったと考えられる。 今後は、同化解析との連携や様々な水位・流量観測手法との比較を行うなど、洪水時の水面形の推定精度の向上の方策として研究を進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い